



データサイエンス・計算科学を用いた
電気化学アプリケーションの研究開発

日 時： 2026年10月14日(水) 13時00分 ~ 17時35分

形 式： ハイブリッド開催(現地会場 + オンライン配信)

現地会場： 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎大会議室 (Zoomによる同時配信を行います)

近年、研究開発のDX化が急速に進みつつあります。電気化学アプリケーションの研究開発においても、その有効性が広く認められ、現場での活用が急速に拡大しています。

本セミナーでは、第一線の研究者5名をお招きし、データサイエンスの基礎からマテリアルズ・インフォマティクス(MI)を活用した材料探索、計算科学による燃料電池のシミュレーション、さらには自動実験と連携した二次電池開発まで、最新の研究成果と今後の展望をご紹介します。

電気化学分野へのさらなる活用が期待される「データサイエンス」と「計算科学」の最前線に、ご興味のある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2026年10月14日(水)

(13:00~13:05)

◎開会の挨拶

(13:05~13:55)

1. 初心者からのデータサイエンス:水電解用触媒の合理的設計

横浜国立大学 菅原 勇貴

(13:55~14:45)

2. データサイエンスを活用したリチウムイオン導電体の探索:
材料推薦システムとイオン導電率予測モデルの活用例

東京科学大学 鈴木 耕太

(14:45~14:55)

休憩

(14:55~15:45)

3. 固体高分子形燃料電池触媒層内メゾスケール解析による材料・設計・運転支援

九州大学 井上 元

(15:45~16:35)

4. 耐久性評価に向けたSOFCの熱・電気化学-力学シミュレーション手法構築

慶應義塾大学 村松 真由

(16:35~16:40)

休憩

(16:40~17:30)

5. 自動実験とデータ科学が連携した蓄電池用電解液材料探索

物質・材料研究機構 松田 翔一

(17:30~17:35)

◎閉会の挨拶

主催 電気化学会

協 賛：日本化学会、日本分析化学会、日本MR S、腐食防食学会、表面技術協会、高分子学会、
電気学会、日本機械学会



参加申込方法



電気化学セミナーのページはこちらから

- 【定員】 現地会場 75名、オンライン 300名(先着順、定員に達し次第締め切り)
- 【参加申込および入金締切】 2026年10月7日(水)
※入金締切日までにお支払が確認できない場合は参加できません。
- 【参加費】 個人会員・特別法人会員 8,000円、法人会員 12,000円、学生会員 3,000円
非会員 20,000円、非会員学生 7,000円 ※参加費はいずれも税込
※協賛学会会員は本会会員と同等の条件で参加可能です。該当する会員資格を選択してお申込ください。
- 【参加申込方法】 本会セミナーホームページ(<https://www.electrochem.jp/seminar/>)、
または上記QRよりお申込ページに進み、氏名、勤務先、連絡先、会員資格、参加費等の
必要事項を記入してお申込みください。
参加費は銀行振込または、PayPalを介したクレジットカード払いでお支払いいただけます。
・銀行振込:三菱UFJ銀行市ヶ谷支店(普)0939526, 公益社団法人電気化学会
・PayPal:利用可能なクレジットカードや詳細は、PayPalのWebサイトでご確認ください。
<https://www.paypal.com/jp/webapps/mpp/home>
- 【備考】 ※申込者ご本人のみの受講に限ります。
※本会セミナーホームページに記載の免責事項をご確認いただき、ご同意の上でお申込みください。
※オンライン参加をご希望の方は、通信環境の整備等の詳細について
免責事項内の受講規約を必ずご確認ください、ご同意の上でお申込みください。
※セミナーの撮影・録画・録音・スクリーンショット(画面の保存)等をご遠慮ください。
- 【個人情報の取扱い】 皆様からお預かりした個人情報は、本会からのご案内や資料の送付にのみ利用いたします。
本会は、皆様よりお預かりした個人情報を適切に管理し、許諾なく個人情報を第三者に開示いたしません。
本会は、保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守致します。
- 【問い合わせ先】 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル7階 電気化学会 事務局
(TEL:03-3234-4213, メール:seminar@electrochem.jp)